

太原方言における単字調および“ 軽声 ”を伴う二音節語の調形

著者	樋口 勇夫
雑誌名	名古屋学院大学論集 人文・自然科学篇
巻	42
号	1
ページ	13-32
発行年	2005-07-31
URL	http://doi.org/10.15012/00000837

太原方言における単字調および“軽声”を伴う二音節語の調形

樋口 勇 夫

0. はじめに

樋口 (2004a) では、漢語諸方言における声調とストレスアクセントとの関係を、実験音声学的手法によって明らかにすることの一環として、漢語北方方言 13 種における単字調形と後字軽声二音節語調形とを比較し、両者の関係を探った⁽¹⁾。

また、樋口 (2004b・2004c・2005) では、それぞれ西南官話の一種である、昆明方言・成都方言・貴陽方言における、単字調形と所謂“重い軽声”を伴う二音節語調形とを比較し、両者の関係を探った。

本稿では、樋口 (2004a・2004b・2004c・2005) 同様、実験音声学的手法により、岩田 (1999・2001) の見解に基づいて、太原方言における、単字調形と所謂“重い軽声”を伴う二音節語調形とを比較し、両者の関係を探る⁽²⁾。具体的な実験方法としては、太原方言の音声データを音声分析ソフトで分析し⁽³⁾、両者のピッチ (F0) および音節の長さを比較する。

岩田 (1999: 147-148, 152-156)・(2001: 24, 25-26) では、江蘇省連雲港方言の 3 種の軽声—前者では“Ⅰ類・高降・Ⅱ類”，後者では“ $LS(2) \cdot LS(3) \cdot LS(1)$ ”と呼ばれている—は、歴史的にこの順でストレスの左移動を生じた結果で、

ストレス左移動の順		①	②	③
後字のタイプ		“right spreading”	“高降”	“既定値” 保存
前字調類	単字調値	Ⅰ類= $LS(2)$	高降= $LS(3)$	Ⅱ類= $LS(1)$
陰平	214	214+5	214+41	214+1
陽平	24	21+5	21+41	24+1
入声	24	21+5	21+41	44+1
去声	45	44+5	44+41	45+1
上声	41	41+1	— — —	44+1

①は軽声の“既定値”(“低”という“声域特性”)まで失われてしまった“right spreading”(前字上声を除く)、②は“上声(41)”という特定の声調の声調特性を獲得した“secondary tone”，③は“既定値”のみ保存している、と考えている。

樋口 (2004a) では、これらのほかに、「合肥・陰平」や「蘭州・陽平」の後字軽声のような、“低

昇”タイプを,

地点	前字調類	単字調値	二音節語調値
合肥	陰平	21	21+23
蘭州	陽平	51	51+24

樋口 (2004b・2004c) では, 「昆明・陰平」, 「昆明・陽平」, 「昆明・上」, 「昆明・去」や, 「成都・陰平」, 「成都・陽平」, 「成都・上」, 「成都・去」の後字軽声のような, “中平” タイプを,

地点	前字調類	単字調値	二音節語調値
昆明	陰平	33	33+33
昆明	陽平	31	31+33
昆明	上	53	53+33
昆明	去	212	212+33

地点	前字調類	単字調値	二音節語調値
成都	陰平	35	35+44
成都	陽平	31	44+44
成都	上	553	55+44
成都	去	213	213+44

樋口 (2005) では, 「貴陽・陰平」, 「貴陽・陽平」, 「貴陽・上」, 「貴陽・去」の後字軽声のような, “高昇” タイプを, それぞれ認めた。

地点	前字調類	単字調値	二音節語調値
貴陽	陰平	45	45+45
貴陽	陽平	21	22+45
貴陽	上	42	44+45
貴陽	去	24	24+45

本稿では, 以上のような見解に従って, 晋語の一種である太原方言の所謂“重い軽声”を観察する。

1. 連読変調表

温等 (1999) から得られる二音節語語例を, 筆者の聴覚的記述調値によって表にまとめると, 以下の如くである。(以下, 平声・上声・去声・陰入・陽入を, それぞれ①・②・③・④・⑤で表わす。)

後字が変調しないものを「後重」とし (但し, 「③+③」は後字が 55 に変調する), 後字が 45 / ʔ 45 に変調するものを「後軽 a」, 22 / ʔ 2 に変調するものを「後軽 b」, 51 に変調するものを「後軽 c」とする。(但し, 「④+④」の「5+2」/ 「2+2」, 「④+⑤」の「5+2」, 「⑤+④」の「5+2」/ 「2+2」, 「⑤+⑤」の「2+2」は, 所属語彙により「後重」/ 「後軽」を判断した。)

② (単字 51) は、「②+②」(後重 a) の前字では 22 に変調し、「①+②」(後重) と変調結果が同じになる。これは、「上声+上声」>「(陽) 平声+上声」という北方方言に普遍的に見られる変調規則を反映したものであろう。

④ (単字・? 2) は、「④+①/④/⑤」(後重) の前字では・? 5 に、「④+②」の前字では・? 45 に、それぞれ変調する。

⑤ (単字・? 53) は、「⑤+①/④」(後重) の前字では・? 5 に、「⑤+②」の前字では・? 45 に、「⑤+③」(後重/後軽)・「⑤+④/⑤」(後軽) の前字では・? 2 に、それぞれ変調する。

④と⑤は、前字④の「後軽 a」の例を除けば、2 音節語においては完全に中和しているようである。

「①/②/③/④/⑤+①」の後字① (22), 「③+②」の後字② (51), 「①/②/④/⑤+③」の後字③ (45), 「①/②/③+④」の後字④ (・? 2), 「③+⑤」の後字⑤ (・? 2); はそれぞれ、「後重」であるか「後軽」であるかが判別できないので、以下の表では両者の間に置き、4. の表でも後字軽声の例としてタイプ分けを行なうことをしない。

「数」は得られた語例数を表わす。

尚、下の表では、「? 2・? 5・? 45」の「?」を省略し、それぞれ「2・5・45」と表記してある。また、「後字 22 /? 2」の「/? 2」および「後字 45 /? 45」の「/? 45」を省略し、それぞれ「後字 22」および「後字 45」と表記してある。

前	後	① 22	数	② 51	数	③ 45	数	④・? 2	数	⑤・? 53	数
① 22	後軽 a(後字 45)	22 + 45	21	22 + 45	1	22 + 45	19				
	後重			22 + 51	7			22 + 2	16		
	後軽 b(後字 22)	22 + 22	47								
② 51	後軽 a(後字 45)	51 + 45	1			51 + 45	12				
	後重	51 + 22	10	a 22 + 51 b 51 + 51	10 1			51 + 2	11		
	後軽 b(後字 22)			51 + 22	10						
③ 45	後軽 c(後字 51)	45 + 51	4	45 + 51	11	45 + 51	8				
	後重	45 + 22	17			55 + 55	11	45 + 2	7	45 + 2	1
	後軽 b(後字 22)										
④・? 2	後軽 a(後字 45)	2 + 45	1			2 + 45	12	2 + 45	1		
	後重			45 + 51	8			5 + 2	14	5 + 2	2
	後軽 b(後字 22)	5 + 22	13					2 + 2	5		
⑤・? 53	後軽 a(後字 45)					2 + 45	8				
	後重			45 + 51	6			5 + 2	6		
	後軽 b(後字 22)	5 + 22	6					2 + 2	4	2 + 2	4

「後軽 a」(後字 45 /? 45) は、「①+①」・「①+②」・「②+①」・「④+①」・「④+④」に現われる。(但し、「①+①」以外は 1 例ずつしか得られなかった。)

「後軽 b」(後字 22 /? 2) は、「②+②」・「④+④」・「⑤+④」・「⑤+⑤」に現われる。

「後軽 c」(後字 51) は、「③+①」・「③+③」に現われる。

「①+⑤」・「②+⑤」は、例を得られなかった。

2. 各形式所属語彙

得られた全ての各形式所属語彙を、声調の組み合わせ別に、以下に掲げる。

①+①

「後重/後軽 b」(22+22) 47 例

阳婆^{太阳}，年除除夕，今年，明年，年时^{去年}，明天，今天，葵花^{向日葵}，南瓜，公猪，猓猪^{公猪}，
公鸡，穀儿^{老鼠}，茅房^{厕所}，厨房，楼梯，奔颀^{额头}，姑娘^{女儿}，咸盐^{盐的总称}，粗盐^{经过加工的盐}，
调羹^{稍大的勺子}，先生^{医生}，医生，蹿稀^{泻肚}，便宜，成心^{故意}，思谋^{考虑}，饴饴，开春，年轻，
迎亲，偏旁，爬坡，批评，通天，生丝，挪窝，啰唆，全权，牛油，帮忙，江阳^{地名}，
双簧，恩人，风门，重孙，均匀。

①+①

「後軽 a」(22+45) 21 例

爷爷，刀刀^{小刀儿}，娃娃，虫虫，星星，娘娘^{外祖母}，馍馍^{馒头}，馄饨，勺勺^{小勺子}，刚刚，
精明^{机灵}，牛牛^{小虫}，虫虫^{昆虫类}，红红^{胭脂}，尖尖^{尖儿}，淋淋^{漏斗}，弯弯，曹操，哥哥，环环^{耳环}，
裙裙。

①+②

「後重」(22+51) 7 例

红薯^{白薯}，烟筒^{铁皮的烟囱}，眉眼脸，刚好^刚，昇水^{抬水}，当场，根本。

①+②

「後軽 a」(22+45) 1 例

闺女^{女儿}。

①+③

「後重/後軽 a」(22+45) 19 例

星宿^{星星}，青菜^{菠菜}，菠菜，窗户，烟洞^{砖砌的烟囱}，陈醋，熏醋^{熏制的醋}，咋地^{怎么样}，干净，
专意^{故意}，巴望^{指望}，拉面^{用手拉长的面条}，开矿，恩爱，周逗^{周转}，难看，洋相，音信，通顺。

①+④

「後重/後軽 b」(22+? 2) 16 例

今日^{今天}，茄子，房子^{：整所}，窗子^{窗户}，儿子，包子，勺子^{小勺子}，男的^{男人}，厨子^{厨师}，
尔们^{你们：限女性用，一般做定语}，他们，悽惶^{可怜}，毛笔，文物，挑剔，超出。

②+①

「後重/後軽 b」(51+22) 10 例

母猪，草鸡^{母鸡}，姥娘^{外祖母}，老婆^{妻子}，脑头^{上头}，里头^{里面}，腌臢^脏，祖宗，惹人，袄儿。

②+①

「後軽 a」(51+45) 1 例

姥爷^{外祖父}。

②+②

「後重 a」(22+51) 10 例

草纸，早起^{明天}，老虎，打闪闪^{闪电}，左手，保姆，两里，打井，洗手，长子^{县名}。

②+②

「後重b」(51+51) 1例

母狗。

②+②

「後軽b」(51+22) 10例

婶婶, 本本, 奶奶, 爪爪, 姥姥_{外祖母}, 死咧_{死了}, 走咧_{死了}, 粉粉_粉, 扭扭_{茶壶盖儿上小圆把手}, 卷卷。

②+③

「後重/後軽a」(51+45) 12例

礼拜_{星期天}, 老汉_{丈夫}, 水醋_{酿制时间较短的醋}, 哪块_{哪一个}, 哪个_{哪一个}, 底下_{下头}, 擀面_{擀薄切成的面条}, 五味, 少数, 忍让, 躲祸, 走路。

②+④

「後重/後軽b」(51+?2) 11例

老子_{父亲}, 小子_{儿子}, 女的_{女人}, 拐子_{瘸子}, 我们, 俺们_{我们: 跟女性用}, 你们, 咱们, 哪里, 体贴, 口渴。

③+①

「後重/後軽b」(45+22) 17例

冻冰_{结冰}, 去年, 夜天_{昨天}, 夜来_{昨天}, 大爷_{伯父}, 大娘_{伯母}, 酱油, 细盐_{精盐}, 上头, 下头, 外头_{外面}, 唱词, 上山, 看开, 坐锅, 绣球, 向阳。

③+①

「後軽c」(45+51) 4例

太阳, 大夫_{医生}, 自家_{自己}, 后头。

③+②

「後重/後軽c」(45+51) 11例

下雨, 大米, 正手_{右手}, 右手, 病咧_{病了}, 二里_{两里}, 二两, 谛懂_{反应}, 暗语, 饭碗, 案板。

③+③

「後重」(55+55) 11例

大豆_{蚕豆}, 看病, 故意, 第二, 过寿, 害病, 意义, 见面, 乱串, 上炕, 拼命。

③+③

「後軽c」(45+51) 8例

舅舅, 妹妹, 罐罐, 棍棍, 姪姪_{舅母}, 转转_{陀螺}, 可可_{恰好}, 冻冻_{猪皮冻}。

③+④

「後重/後軽b」(45+?2) 7例

下雪, 稻子, 筷子, 第一, 禽嘸_{用脏话骂}, 炕桌, 闰日。

③+⑤

「後重/後軽b」(45+?2) 1例

二十。

④+①

「後重/後輕 b」(-? 5+22) 13 例

菊花, 铁锹, 蜜蜂, 客人, 刮风, 日脏脏, 惑疑疑惑, 忽雷雷, 忽粗粥煮沸声, 忽嗤吸鼻涕声,
日能旁门左道的能干, 不才熟透的瓜摔碎的声音, 不粗粥煮沸声。

④+①

「後輕 a」(-? 2+45) 1 例

月明月亮。

④+②

「後重」(-? 45+51) 8 例

钵碗粗瓷大碗, 瞎眼, 脚板, 戳火恼怒, 得脑头, 日捣捣鬼, 日哄哄骗, 日鬼糊弄。

④+③

「後重/後輕 a」(-? 2+45) 12 例

月亮, 吃架招架, 夹棍, 窟窿, 执照, 忽绕绕, 忽兴得意, 忽刺抽泣声, 忽片片, 日怪奇怪,
不洞小洞, 不菜一摊。

④+④

「後重」(-? 5+? 2) 14 例

胳膊, 腊月, 壁虱臭虫, 指甲, 这里, 兀里那里, 那里, 日噉用脏话骂, 剥掐, 腊八, 抹擦,
忽眨眨, 忽吸吸, 不沓音。

④+④

「後輕 a」(-? 2+? 45) 1 例

雪月。

④+④

「後輕 b」(-? 2+? 2) 5 例

麦子, 桌子, 叔叔叔父, 杀割包圆儿, 鸭子。

④+⑤

「後重」(-? 5+? 2) 2 例

说合, 不服。

⑤+①

「後重/後輕 b」(-? 5+22) 6 例

圪都拳头, 圪蹴蹲, 圪针荆棘上的小刺, 圪洋慢吞吞, 圪堆堆, 圪咚象声词: ~~~声。

⑤+②

「後重」(-? 45+51) 6 例

十五, 圪肘肘, 拔草, 滑倒, 圪榄杆, 圪朽薦。

⑤+③

「後重/後輕 a」(-? 2+45) 8 例

鼻涕, 薄烂拌, 十二, 服架招架, 圪洞小坑, 圪转稍微转一转, 圪荫荫凉, 圪意恶心。

⑤+④

「後重」(・? 5+・? 2) 6 例

十一, 活脱, 侄子, 十足, 圪歇稍微歇一歇, 圪节节。

⑤+④

「後軽 b」(・? 2+・? 2) 4 例

鼻子, 脖子, 笛子, 席子。

⑤+⑤

「後軽 b」(・? 2+・? 2) 4 例

碟碟碟子, 直直, 格格, 活活。

得られた例を見る限り, 所属語彙には以下の如き傾向がある:

1. 動賓構造の語彙は, 全て「後重」(乃至「後重/後軽」)に属している。
2. 重ね型の語彙は, ①では「後軽 a」(後字 45)に属し, ②・④・⑤では「後軽 b」(後字 22/・? 2)に属し, ③では「後軽 c」(後字 51)に属している。

前字				
調類	調値	後軽 a	後軽 b	後軽 c
①	22	22+45		
②	51		51+22	
③	45			45+51
④	・? 2		・? 2+・? 2	
⑤	・? 53		・? 2+・? 2	

3. 接尾辞“头”(単字 22)は, 前字①・②では「後重/後軽 b」(後字 22)に属すが, 前字③では「後重/後軽 b」(後字 22)に属すもの 3 例

上头, 下头, 外头外面

と「後軽 c」(後字 51)に属すもの 1 例

后头

とに分かれる。(前字④・⑤の例は得られなかった。)

前字				
調類	調値	後重	後軽 b	後軽 c
①	22	22+22		
②	51	51+22		
③	45	45+22		45+51
④	・? 2	—		—
⑤	・? 53	—		—

4. 接尾辞“儿”(単字 22)は, 前字①・②では「後重/後軽 b」(後字 22)に属している。(前字③・④・⑤の例は得られなかった。)

5. 接尾辞“子”(単字-?2)は, 前字①・②・③・④では「後重/後軽b」(後字-?2)に属すが, 前字⑤では「後重」(-?5+-?2)に属すもの1例

侄子

と「後軽b」(-?2+-?2)に属すもの4例

鼻子, 脖子, 笛子, 席子

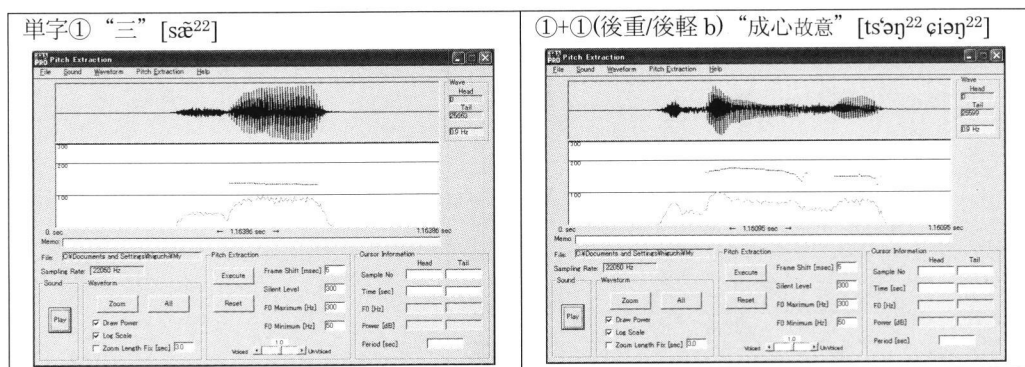
とに分かれる。

前字			
調類	調値	後重	後軽b
①	22	22+-?2	
②	51	51+-?2	
③	45	45+-?2	
④	-?2	-?2+-?2	
⑤	-?53	-?5+-?2	-?2+-?2

6. 接頭辞“忽[xuə?2]”・“日[zə?2]”・“不[pə?2]”・“圪[kə?2]”は, 全て「後重」(乃至「後重/後軽」)に属している。

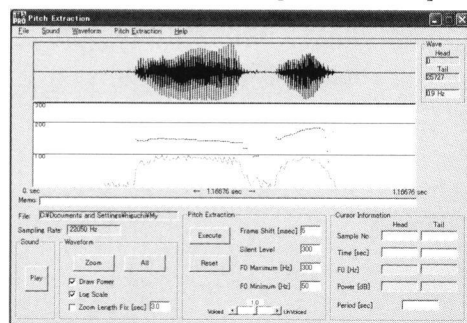
3. 各形式の例

音声分析画面に表示した各形式の例を, 以下に掲げる。音声記述のうち, 調値は筆者の聴覚的記述調値, それ以外は温等(1999)による。

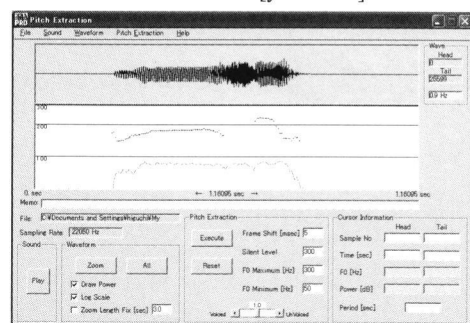


太原方言における単字調および“轻声”を伴う二音節語の調形

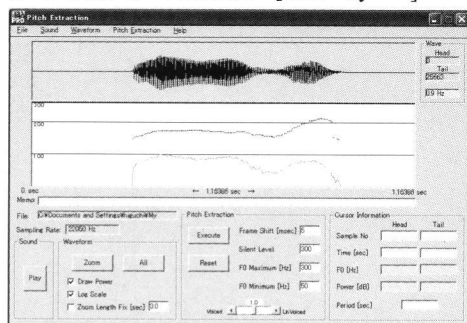
①+①(後軽 a) “环环耳耳” [xuǎ²² xuǎ²²⁻⁴⁵]



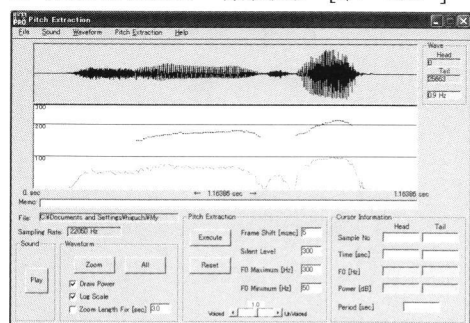
①+②(後重) “昇水抬水” [y²² suei⁵¹]



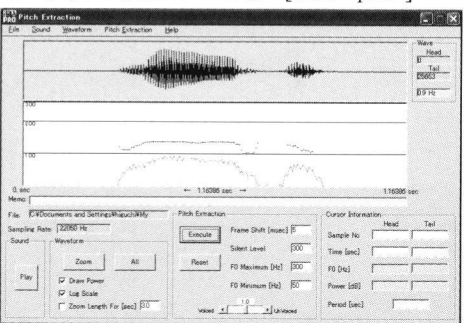
①+②(後軽 a) “闺女女儿” [kuei²² ny⁵¹⁻⁴⁵]



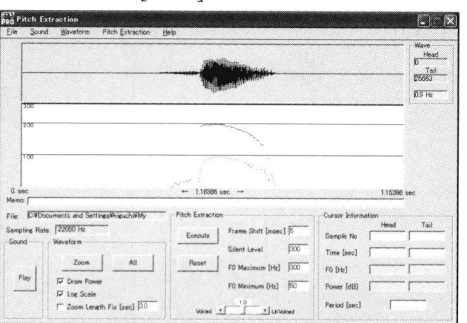
①+③(後重/後軽 a) “青菜菠菜” [tɕi²² ts'ai⁴⁵]



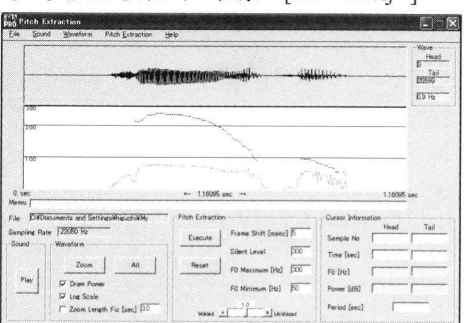
①+④(後重/後軽 b) “毛笔” [mau²² pia²²]



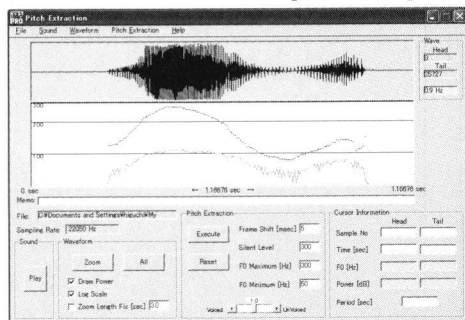
单字② “手” [səu⁵¹]



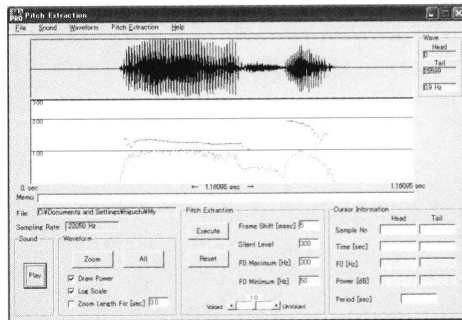
②+①(後重/後軽 b) “祖宗” [tsu⁵¹ tsuəŋ²²]



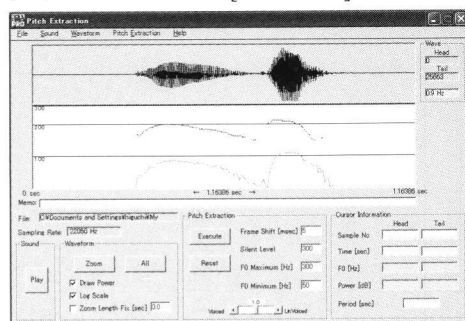
②+①(後軽 a) “姥爷外祖父” [lau⁵¹ ie²²⁻⁴⁵]



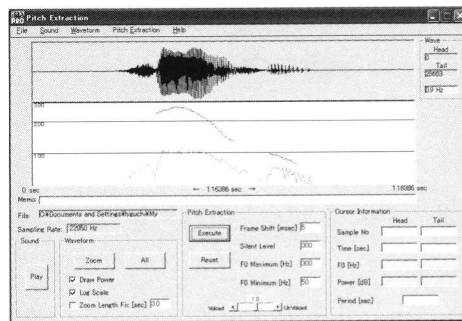
②+②(後重 a) “打闪闪电” [ta⁵¹⁻²² sã⁵¹]



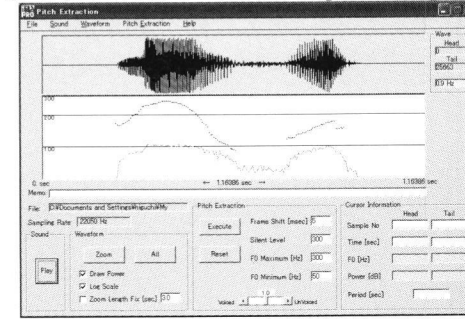
②+②(後重 b) “母狗” [mu⁵¹ kau⁵¹]



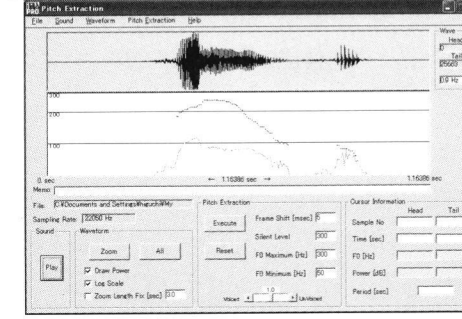
②+②(後軽 b) “婶婶” [səŋ⁵¹ səŋ⁵¹⁻²²]



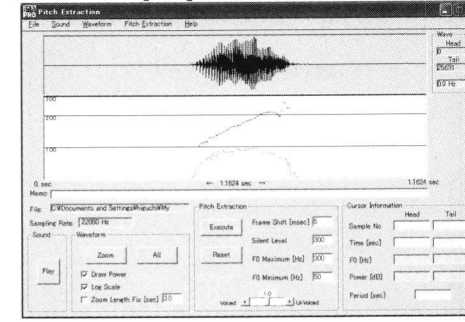
②+③(後重/後軽 a) “老汉丈夫” [lau⁵¹ xã⁴⁵]



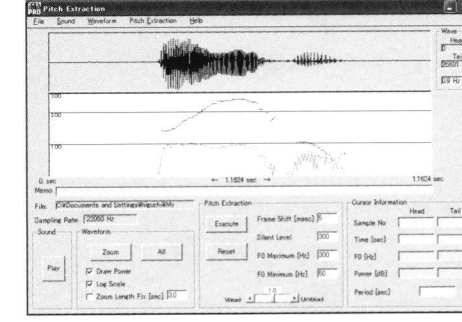
②+④(後重/後軽 b) “口渴” [k'au⁵¹ k'a²²]



单字③ “二” [ər⁴⁵]

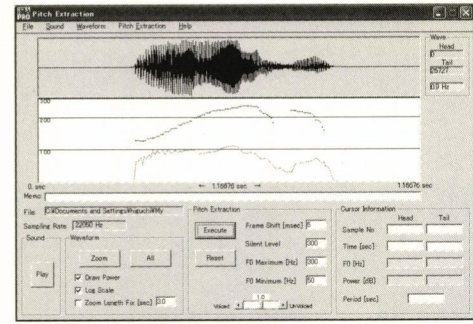


③+①(後重/後軽 b) “冻冰结冰” [tuəŋ⁴⁵ piəŋ²²]

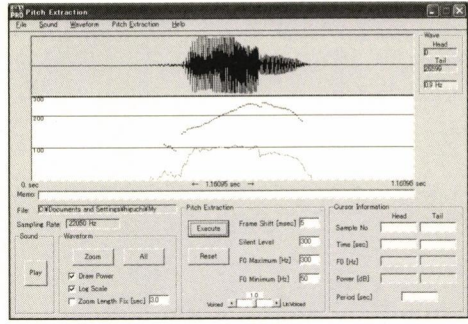


太原方言における単字調および“轻声”を伴う二音節語の調形

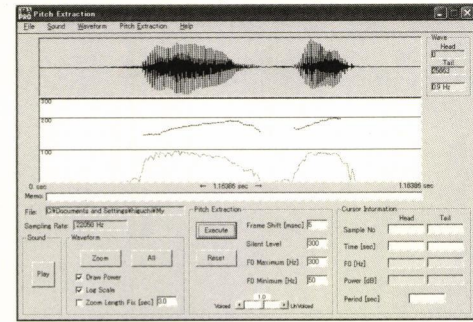
③+①(後軽 c) “大夫医生” [tai⁴⁵ fu²²⁻⁵¹]



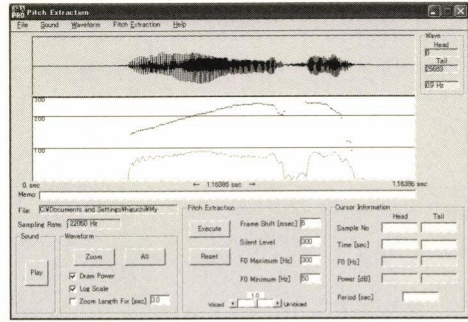
③+②(後重/後軽 c) “下雨” [xa⁴⁵ y⁵¹]



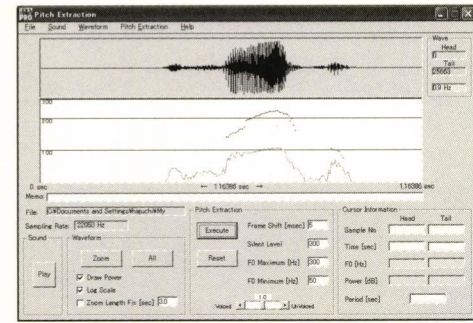
③+③(後重) “上炕” [sɔ̃⁵⁵ kɔ̃⁵⁵]



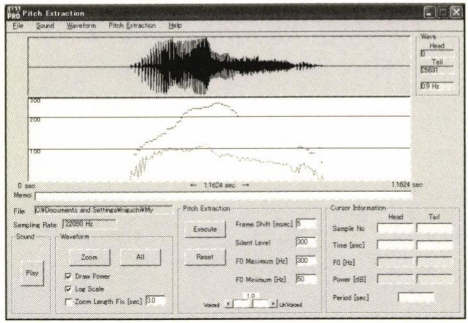
③+③(後軽 c) “冻冻猪皮冻” [tɕyən⁴⁵ tɕyən⁴⁵⁻⁵¹]



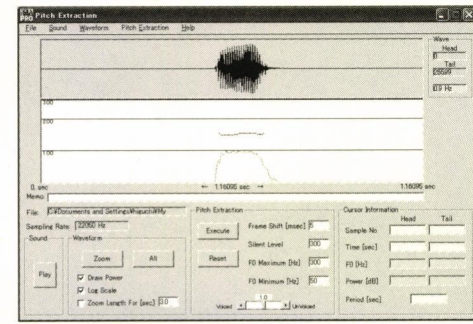
③+④(後重/後軽 b) “尕嘛用脏话骂” [ts'au⁴⁵ tɕyɔ²²]



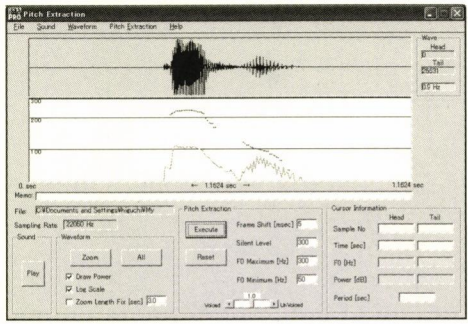
③+⑤(後重/後軽 c) “二十” [ər⁴⁵ ssɔ̃⁵³⁻²]



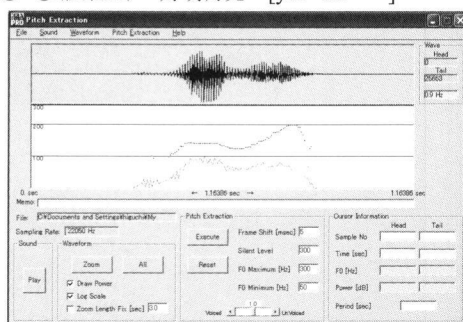
④单字 “八” [pa²²]



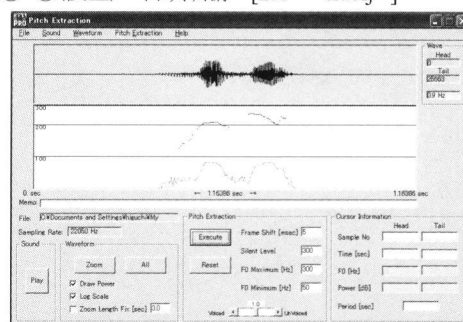
④+①(後重/後軽 b) “刮风” [kua²²⁻⁵ fəŋ²²]



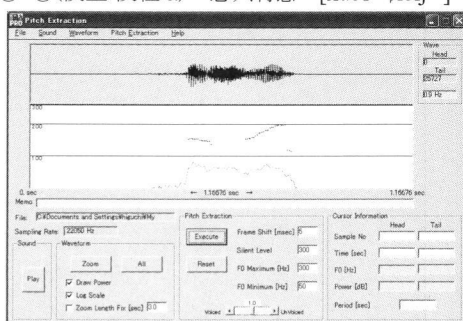
④+①(後軽 a) “月明月亮” [yə² mi²²⁻⁴⁵]



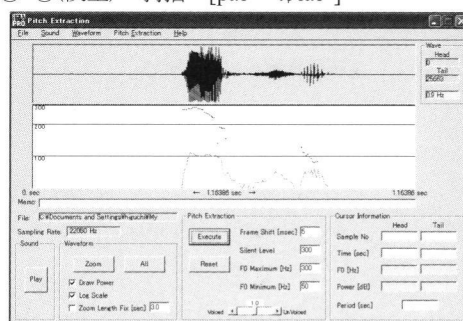
④+②(後重) “日哄哄骗” [zə²⁻⁴⁵ xuə⁵¹]



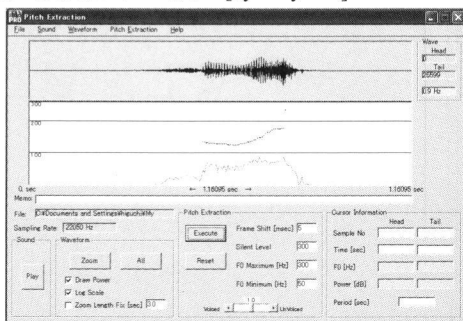
④+③(後重/後軽 a) “忽兴得意” [xuə² ciə⁴⁵]



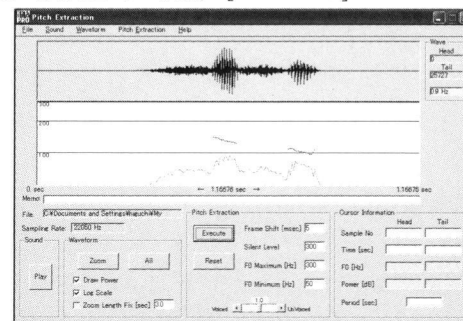
④+④(後重) “剥掐” [pa²⁻⁵ tɕ'ia²]



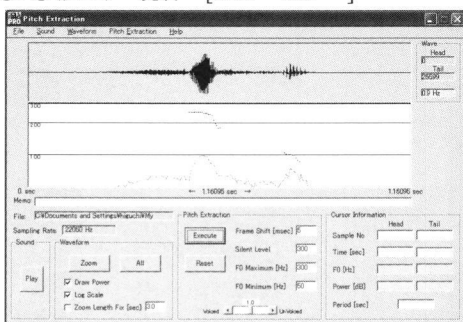
④+④(後軽 a) “雪月” [ɕyə² yə⁴⁵]



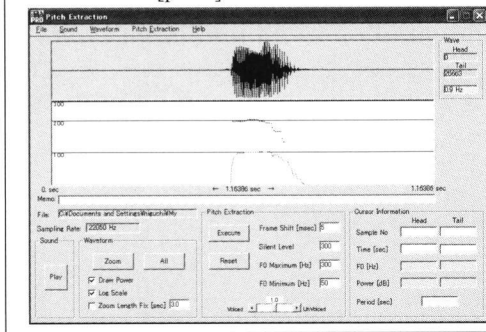
④+④(後軽 b) “叔叔” [suə² suə²]



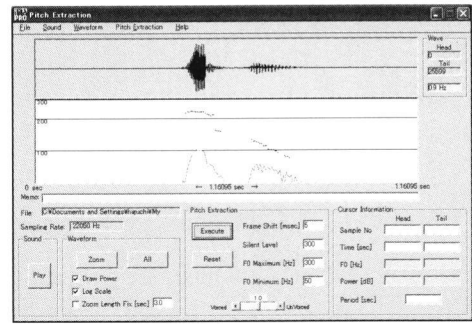
④+⑤(後重) “说合” [suə²⁻⁵ xa⁵³⁻²]



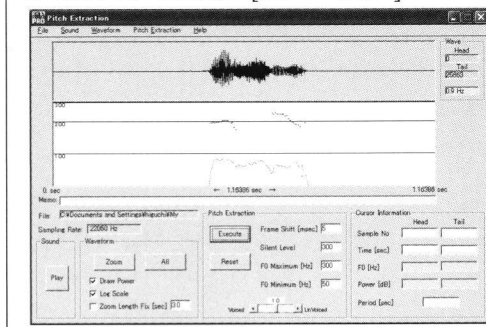
⑤単字“拔”[pa²⁵³]



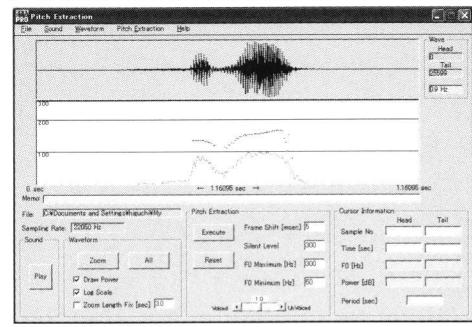
⑤+①(後重/後輕 b)“圪堆堆”[ka²⁵³⁻⁵ tucⁱ²²]



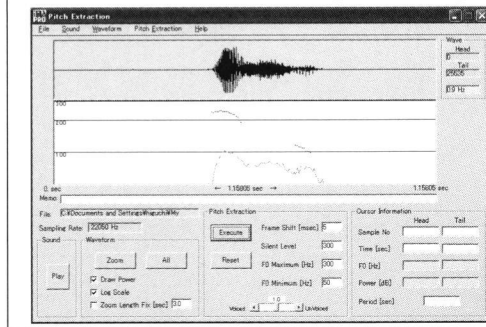
⑤+②(後重)“圪朽薦”[ka²⁵³⁻⁴⁵ ɕiau⁵¹]



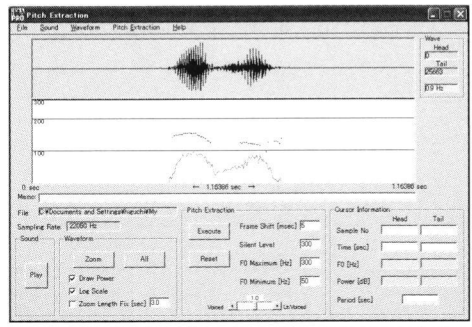
⑤+③(後重/後輕 a)“服架招架”[fa²⁵³⁻² tcia⁴⁵]



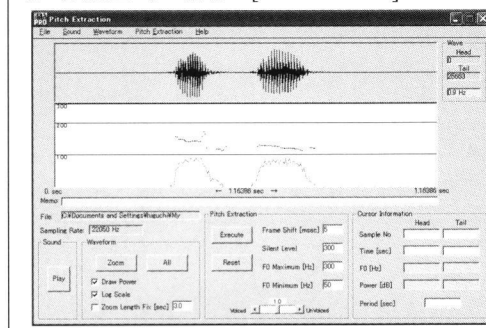
⑤+④(後重)“圪歇稍微歇歇”[ka²⁵³⁻⁵ ɕia^{2?}]



⑤+④(後輕 b)“鼻子”[pia²⁵³⁻² tsə^{2?}]



⑤+⑤(後重 b)“格格”[ka²⁵³⁻² ka²⁵³⁻²]



4. 分析結果

本稿では、韻母部分をその音節の長さとして測定した。

音響分析による調値は、石（1994：114）に従って、まず、各声調の始点・中点・終点の周波数（F0）各平均値を次の公式に代入して算出し、


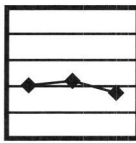
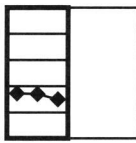


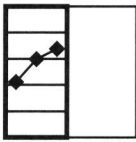
$\frac{x-b}{a-b} \times 5$	a=全声調平均の最高周波数。
	b=全声調平均の最低周波数。
	x=各声調平均の各点における周波数。

次に、得られた数値の0～1の間を1、1～2の間を2、2～3の間を3、3～4の間を4、4～5の間を5、とそれぞれし、3桁で表わした。

音節の絶対的な長さは捨象した。前字に対する後字の相対的な長さを「後字／前字」により算出し、前字の長さを1として後字の長さを図示した。但し、後字の方が長い場合は、後字の長さを1として、前字の方を短く図示している。

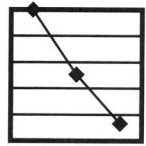
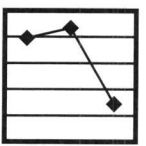
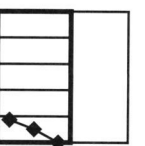
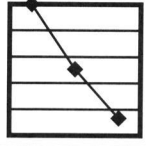
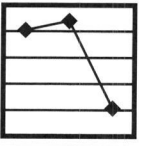
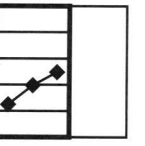
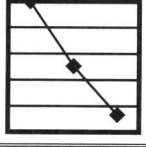
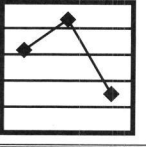
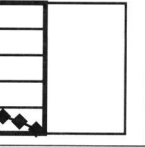
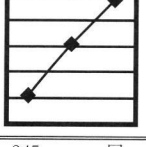
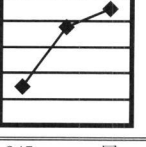
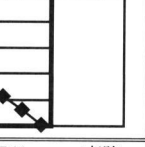
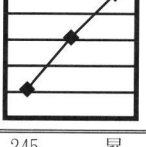
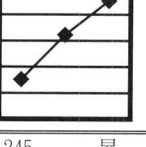

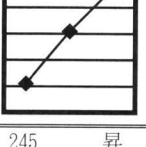
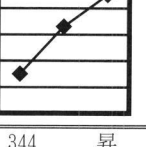

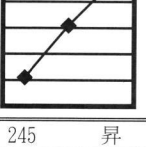
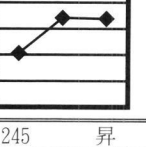
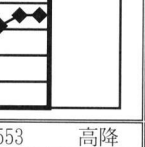
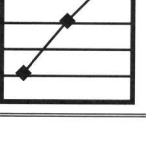
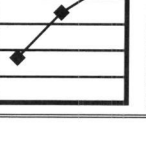
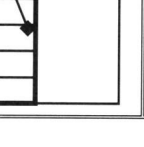
「⑤+④後軽 b」および「⑤+⑤後軽 b」の前字⑤は、単字調として現われる調素が後字軽声の前で変調しているの、これらについては、前字+後字の調形についてのみ、その他の場合に当てはめて述べる⁽⁴⁾。

以下では、後重のものも含めて全形式の分析結果を掲げ、0. で見た後字軽声の各タイプ、“Right Spreading”タイプ、“高降(High Falling)”タイプ、“低昇/高昇(Rising)”タイプ、“中平(Mid Level)”タイプおよび“既定値(Default Value)”保存タイプ、をそれぞれ“S”，“F”，“R”，“L” および “D” とする。

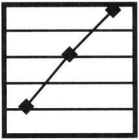

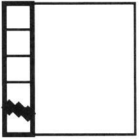
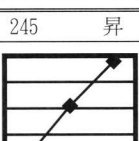
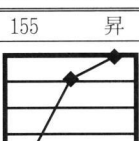




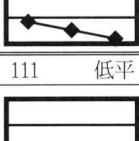

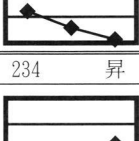
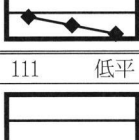
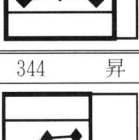
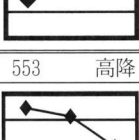
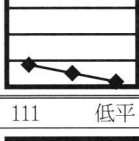
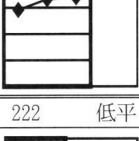
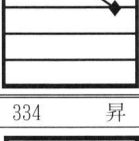
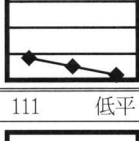
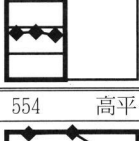
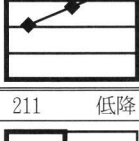
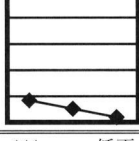
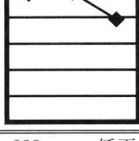
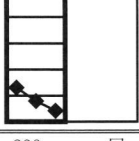
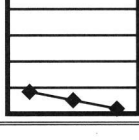
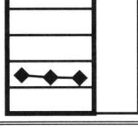
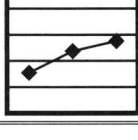






形式	タイプ ／語 例数	調値・調形			比 後/前	cf.記述調値 上:『音档』/下:筆者		
		単字	前字	後字		単	前	後
①+① 後重/ 後軽 b	— 47	111 低平	332 低平	222 低平	0.45	11	11	11
						22	22	22
①+① 後軽 a	R 21	111 低平	232 低平	334 昇	0.46	11	11	45
						22	22	45




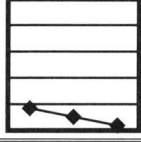
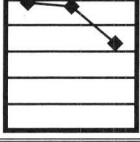

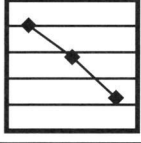
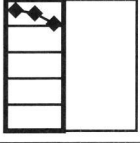
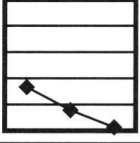
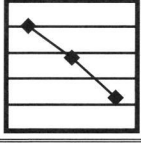
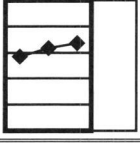
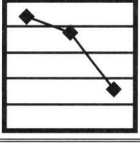
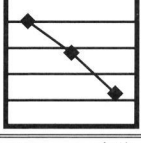
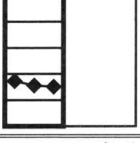

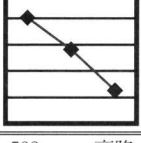
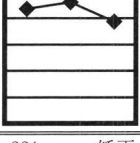
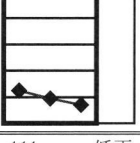
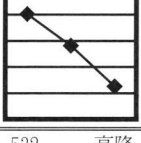
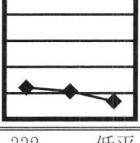
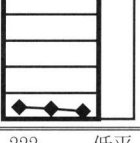
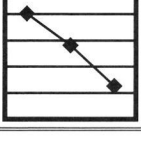
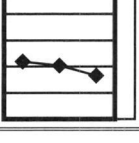
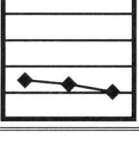
太原方言における単字調および“轻声”を伴う二音節語の調形

①+② 後重	— 7	111 低平	333 中平	443 高降	0.32	11 22	11 22	51 51
①+② 後軽 a	R 1	111 低平	333 中平	344 昇	0.54	11 22	11 22	45 45
①+③ 後重/ 後軽 a	— 19	111 低平	233 低平	344 昇	0.42	11 22	11 22	45 45
①+④ 後重/ 後軽 b	— 16	111 低平	232 低平	222 低平	0.26	11 22	11 22	22 22
②+① 後重/ 後軽 b	— 10	531 高降	552 高降	111 低平	0.36	53 51	53 51	22 22
②+① 後軽 a	R 1	531 高降	451 高降	122 昇	0.38	53 51	53 51	45 45
②+② 後重 a	— 10	531 高降	222 低平	442 高降	0.32	53 51	11 22	53 51
②+② 後重 b	— 1	531 高降	443 高降	442 高降	0.48	53 51	11 51	53 51

②+② 後軽 b	S/D 10	531 高降 	452 高降 	111 低平 	0.57	53 51	53 51	11 22
②+③ 後重/ 後軽 a	— 12	531 高降 	552 高降 	223 昇 	0.57	53 51	53 51	45 45
②+④ 後重/ 後軽 b	— 11	531 高降 	452 高降 	111 低平 	0.35	53 51	53 51	・? 2 ・? 2
③+① 後重/ 後軽 b	— 17	245 昇 	245 昇 	211 低降 	0.44	45 45	45 45	11 22
③+① 後軽 c	F 4	245 昇 	245 昇 	541 高降 	0.36	45 45	45 45	53 51
③+② 後重/ 後軽 c	— 11	245 昇 	245 昇 	553 高降 	0.31	45 45	45 45	53 51
③+③ 後重	— 11	245 昇 	344 昇 	444 高平 	0.46	45 45	45 55	45 55
③+③ 後軽 c	F 8	245 昇 	245 昇 	553 高降 	0.32	45 45	45 45	53 51

太原方言における単字調および“軽声”を伴う二音節語の調形

③+④ 後重/ 後軽 b	— 7	245 昇 	255 昇 	211 低降 	0.16	45	45	∇ 2
						45	45	∇ 2
③+⑤ 後重/ 後軽 c	— 1	245 昇 	155 昇 	111 低平 	0.15	45	45	∇ 2
						45	45	∇ 2
④+① 後重/ 後軽 b	— 13	111 低平 	555 高平 	211 低降 	1.53	∇ 2	∇ 54	11
						∇ 2	∇ 5	22
④+① 後軽 a	R 1	111 低平 	222 低平 	234 昇 	1.14	∇ 2	∇ 54	45
						∇ 2	∇ 2	45
④+② 後重	— 8	111 低平 	344 昇 	553 高降 	1.46	∇ 2	∇ 45	53
						∇ 2	∇ 45	51
④+③ 後重/ 後軽 a	— 12	111 低平 	222 低平 	334 昇 	2.33	∇ 2	∇ 2	45
						∇ 2	∇ 2	45
④+④ 後重	— 14	111 低平 	554 高平 	211 低降 	0.46	∇ 2	∇ 54	∇ 2
						∇ 2	∇ 5	∇ 2
④+④ 後軽 a	R 1	111 低平 	222 低平 	233 昇 	1.43	∇ 2	∇ 54	∇ 2
						∇ 2	∇ 2	∇ 45

④+④ 後軽 b	S/D 5	111 低平 	222 低平 	221 低降 	0.8	-? 2 -? 2	-? 2 -? 2	-? 2 -? 2
④+⑤ 後重	— 2	111 低平 	554 高平 	111 低平 	0.88	-? 2 -? 2	-? 45 -? 5	-? 54 -? 2
⑤+① 後重/ 後軽 b	— 6	532 高降 	555 高平 	211 低降 	2.16	-? 54 -? 53	-? 54 -? 5	11 22
⑤+② 後重	— 6	532 高降 	344 昇 	542 高降 	1.39	-? 54 -? 53	-? 2 -? 45	53 51
⑤+③ 後重/ 後軽 a	— 8	532 高降 	222 低平 	233 昇 	2.15	-? 54 -? 53	-? 2 -? 2	45 45
⑤+④ 後重	— 6	532 高降 	554 高平 	211 低降 	0.74	-? 54 -? 53	-? 54 -? 5	-? 2 -? 2
⑤+④ 後軽 b	S/D 4	532 高降 	221 低平 	111 低平 	0.75	-? 54 -? 53	-? 54 -? 2	0 -? 2
⑤+⑤ 後軽 b	S/D 4	532 高降 	332 低平 	222 低平 	1.08	-? 54 -? 53	-? 54 -? 2	-? 2 -? 2

「⑤+④後軽 b」および「⑤+⑤後軽 b」の前字⑤は、単字調として現われる調素が後字軽声の前で変調している。

後字調形が“昇”である「①+①後軽 a」, 「①+②後軽 a」, 「②+①後軽 a」, 「④+①後軽 a」, 「④+④後軽 a」5形式は、Rタイプである。

後字調形が“低平～低降”である「②+②後軽 b」, 「④+④後軽 b」, 「⑤+④後軽 b」, 「⑤+⑤後軽 b」4形式は、Sタイプ或いはDタイプである。

後字調形が“高降”である「③+①後軽 c」, 「③+③後軽 c」2形式は、Fタイプである。

後字の前字に対する長さは、前字舒声（①～③）の場合は、「後重」／「後軽」に関わらず後字の方が短い。前字入声（④・⑤）の場合は、後字が舒声の時は、「後重」／「後軽」に関わらず後字の方が長く、後字も入声の時は、「④+④後軽 a」と「⑤+⑤後軽 b」の後字が前字よりやや長いのを除き、後字の方がやや短い。

注

- (1) 扱った13種は以下の如くである：北京・哈爾濱・合肥・済南・蘭州・南京・青島・天津・烏魯木齊・武漢・西安・銀川・鄭州。
- (2) 温等1999では、“一子[tsəʔ]”・“一里[laʔ]”・“一的[taʔ]”・“一们[məʔ]”4形態素を除き、“軽声”として記述していないが、二音節語の前字が決まると、その後字が、元の声調に関わらず中和されて同一の調値を取るものを、本稿では軽声として扱う。尚、これら4形態素は、本稿では陰入調として処理した。
- (3) 音声データとしては「現代汉语方言音庫」（侯精一主編，上海教育出版社）『音档』付属カセットテープの音声をもた、音声分析ソフトとしては「音声録聞見 for Windows」（東京大学医学部音声言語研究施設，デitel株式会社）を、それぞれ用いた。
- (4) 石（1988：101）参照。「前字単字調和轻声语音词不直接发生关系的，如北京上声和“老虎”[35+2]类轻声语音词、安庆入声和轻声语音词，则只考虑其变调调值跟轻声后字在音高上的关系，不追究其本调和变调之间的演变过程，所以，北京“老虎”这样的轻声语音词就可以归入阳平开头的轻声语音词来进行讨论。」

参考文献

- 樋口勇夫 1990 「太谷方言の声調体系」, 『中国語学』 237, 23-32 頁, 日本中国語学会。
- 樋口勇夫 2004 a 「漢語北方方言における単字調形と後字軽声二音節語調形との関係」, 平成 13-15 年度科研費基盤研究(C) 研究成果報告書『漢語諸方言における語声調の実験音声学的研究』, 62-78 頁。
- 樋口勇夫 2004 b 「昆明方言における単字調および“軽声”を伴う二音節語の調形」, 『名古屋学院大学論集—人文・自然科学篇—』 41-1, 7-18 頁。
- 樋口勇夫 2004 c 「成都方言における単字調および“軽声”を伴う二音節語の調形」, 『名古屋学院大学論集—言語・文化篇—』 16-1, 53-68 頁。
- 樋口勇夫 2005 「貴陽方言における単字調および“軽声”を伴う二音節語の調形」, 『名古屋学院大学論集—言語・文化篇—』 16-2, 17-30 頁。
- 岩田礼 1999 「论北京方言和连云港方言的高降轻声及其历史含义：兼论吴语广用式变调的语音特征」, 『第五届汉语语言学国际研讨会论文选集』, 139-164 頁, 文鶴出版有限公司。
- 岩田礼 2001 「中国語の声調とアクセント」, 『音声研究』 5-1, 18-27 頁, 日本音声学会。

- 沈明 1994 『太原方言词典』, 李荣主编, 江苏教育出版社。
- 石锋 1994 「关于声调分析的几个问题」, 『语音丛稿』, 111-122 頁, 北京语言学院出版社。
- 石汝杰 1988 「说轻声」, 『语言研究』第 1 期, 98-109 頁。
- 汪化云 2003 「自主的轻声和非自主的轻声」, 『语文研究』第 1 期, 50-54 頁。
- 魏钢强 2000 「调值的轻声和调类的轻声」, 『方言』第 1 期, 20-29 頁。
- 温端政 1981 「太原方言词汇」, 『方言』第 4 期, 295-316 頁。
- 温端政、沈明 1999 『太原话音档』, 侯精一主编, 上海教育出版社。